

W I N G E S S A Y

DENTAL WING Co.,LTD

—2017年 11月号—

☆北からは、初冠雪や初雪の便りが届くようになりました。近年、春と秋が短くなり、暑さと寒さが長く続く気候になりつつあります。四季折々の美しさを誇る私たちの国、日本。春と秋という大変いい季節を、もう少し長く楽しませていただきたいものですね。今年も、あと2か月。しっかり頑張りましょう。

☆さて、皆様も一度はお読みになられたかと思いますが、我が国最古の「古事記」。稲羽の白兔など物語として有名ですが、原典は、大和民族の「やまとごころ」と言われます。当初は、漢文のかたちだったものを、水戸光圀公が嘆かれて本居宣長先生によって、初めて全体を読むことを完成されたそうです。

大国主命（おおくにぬしのみこと）様とご兄弟（八十神様）が、稲羽の八上比賣（やかみひめ）との結婚をめぐる物語から始まっていきますが、随所に私たちが失いかけているもの、また、いつでも大切にしなければならないものが数多く教えとして記されています。

皆様ご存知の大黒様。大国主命様のことを、いつしか大黒様と申し上げるようになりました。恵比須様は、事代主命（ことしろぬしのみこと）様のことですね。写真でもわかりますように、大黒様は、背中に大きな袋を背負われており、右手には打出の小槌、そして、米俵の上に乗っておられます。大変、おめでたい大黒様であったり、また縁起のいい大黒様として皆様に親しまれています。皆様、あの背負われている袋の中身をご存知ですか？

この本当のお姿は、あの袋の中には、この世の中のあらゆる心配ごとや、苦勞なことや、難しい問題が入っています。この袋を背負われておられるお心は、本当の親切心、本当の愛の心であります。そして、打出の小槌は、この親切心や愛の心を実践するために必要な方法とか道具を表しておられます。踏まれている米俵は、私達の生活物資、つまり衣食住の材料全部の象徴として表されています。大黒様は、「真心、愛の心によって、技を動かし、それによって衣食住の材料を産み出ささい」と教えられているのですね。ご存知でしたか？



人の数だけ悩みも苦勞もあります。それが、私達の人生です。便利な時代になって、自分さえ良ければという風潮が際立つ世の中になりつつありますが、大黒様のこの「背負いのこころ」こそ、私達日本人が幾世も繋いできた心であることを信じたいものです。人様のお世話をする、人様のお役に立とうとするその気持ちを、いつの世も大切にしたいものですね。

会社の神棚の左隣にこの大黒様がいらっしゃいます。大黒様のご真言は「おん まかきやらや そわか」毎朝、こころしずかに手を合わせ、ご真言を唱えています。もっともっと、皆様のお世話ができますように。お役に立てますように……。